

国際交流のひろば

アイオワ大学（アメリカ）の来訪

5月17日（水）～24日（水）、本学協定校であるアイオワ大学（アメリカ）の学生及び引率者、計12名が来訪しました。期間中は本学及び附属小学校等での活動、ホームステイなど、様々なプログラムを行いました。

- 5/17（水）上越に到着、歓迎式、特別講義等
- 18（木）八千浦中学校で授業実践
特別支援学校の見学
- 19（金）附属小学校での授業実践
- 20（土）附属小学校の運動会に参加
ホームステイ
- 21（日）ホームステイ
- 22（月）本学授業に参加（書道）
市内見学（林泉寺、春日山城跡、
平和記念公園、岩の原葡萄園）
- 23（火）高田高校での授業実践
茶道体験（小林古径記念美術館）
- 24（水）上越を出発



歓迎式



茶道体験

令和4年度海外教育（実践）研究D成果発表会



海外教育（実践）研究Dは大学院及び学部授業科目として行っているもので、令和4年度は3月5日（日）～3月12日（日）の8日間、本学協定校である台湾の国立嘉義大学の訪問や見学、国立嘉義大学附属小学校での授業参観や授業実践、故宮博物院での文化研修などを行いました。

5月30日（火）12時から講201において、参加学生が授業実践の成果、学んだことや参加したこと、感想などを発表しました。

外国人留学生対象就職ガイダンス

5月31日（水）12時から音204において、東京外国人雇用サービスセンターの講師による留学生を対象にしたオンラインでの就職ガイダンスを行いました。

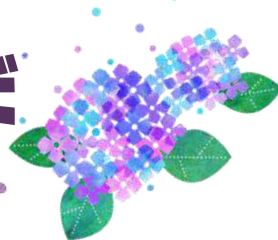
ガイダンスでは、卒業後に日本で働くための在留資格、日本における就職活動の仕方、東京外国人雇用サービスセンター、ハローワーク、就職情報サイト等の利用方法、留学生が求人票を見る時の注意点などについて学びました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

国際交流のひろば



留学生等の交通安全教室

6月9日（金）12時から人105において、交通安全教室を実施しました。

毎年、2回実施しており、第1回目の交通安全教室では、主に自転車の交通ルールや道路での乗り方、実際に起こった事故からの注意点などを動画を見て学びました。

留学生とチューターが参加し、特に自転車をよく利用する留学生らは真剣な様子で動画を見ていました。11月の交通安全教室では上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を実施する予定です。



地域散策 高田町歩き見学



6月14日（水）13時から高田町歩き見学を実施し、留学生、チューター等18名が参加しました。上越の歴史・文化に触れる体験を目的に、警女ミュージアム高田、町屋交流館高田小町、旧今井染物屋を上越市立歴史博物館の花岡さんらの解説を聞きながら見学しました。

参加した李博さん（中国）は「高田の町を巡って上越地域の歴史や文化を学びました。特に印象に残っているのは警女さんのことでした。警女ミュージアムでお話を聞き、警女は日本の文化や歴史の一部であり、彼らの芸術と技術に敬意を持ちました。今回の見学を通じて、大変勉強になりました。」と感想を話していました。



学長と4月入学留学生との懇談会



6月27日（火）15時から学長室において、学長との懇談会を実施し、学長、佐藤留学生支援専門部会長、松尾留学生支援専門副部会長と留学生4名が出席しました。最初に学長から歓迎と励ましの言葉があり、続いて留学生の自己紹介と日本や上越の感想などについて和やかに懇談が行われました。フェリペさん（ブラジル）は「学長室に学生を迎え入れてくださり、非常に親しみを感じ、オープンで透明な対話を促進するという大学の取り組みを理解しました。」と感想を話していました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

国際交流のひろば

各種奨学金に関する説明会

7月5日（水）13時30分から人104教室において、私費外国人留学生を対象とした各種奨学金に関する説明会を実施しました。

近藤留学生支援専門部会員から「ロータリー米山奨学金」「平和中島財団奨学金」「上越教育大学私費外国人留学生奨学金」「JEES留学生奨学金（修学）」などの過去の採用状況や奨学金の内容、応募方法、応募の際の注意事項など詳しく説明しました。



上越国際交流協会との連携連絡会



7月11日（火）10時30分から中会議室において開催し、本学および上越国際交流協会の事業実施状況や連携事業等について意見交換を行いました。

この連携連絡会は、これまで培ってきた連携・協力の実績を基盤に、より一層の連携協力を図るため2010年に設置されたものです。

上越国際交流協会からは清水理事長、河西副理事長、佐藤事務局長の3名、本学からは林学長、中山理事、押木国際交流推進センター長、周東協定校交流推進専門部会長、佐藤留学生支援専門部会長、国際交流推進センター教員の浅倉特任教授、藤谷准教授が出席しました。



夏休みの宿題教室



7月24日（月）～25日（火）上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に、夏休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心に学習支援を行い、児童生徒17名に対し、外国人留学生及び日本人学生14名が支援者として参加しました。

これは令和5年度外国につながる子どもたちへの修学支援事業によるものです。

それぞれの希望により、本学での対面での支援またはWeb会議システムを利用して実施しました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

国際交流のひろば

語学教室（韓国語）

6月7日（水）～7月12日（水）12時10分から第2講義棟103教室において、語学教室（韓国語）を全6回実施しました。韓国人留学生の金昊正さんが講師となり、学生、職員6名が参加し、学校で児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学びました。

参加者からは「昼休みを有効に使っての学習ができて良かった」「少しでも韓国語について知ることができて良かった」などの感想が寄せられました。



留学生の日本文化・歴史体験に関する研修



8月9日（水）長野市において研修を行い、林泉寺、川中島古戦場、長野市立博物館、松代城址、真田邸、文武学校、善光寺を見学しました。

参加した唐一欣さん（中国）は「充実した一日でとても楽しかったです。上越と長野に関する歴史を現地で見て知ることができ、歴史的な雰囲気を感じました。最も印象に残ったのは、善光寺の戒壇巡りでした。暗闇の中、壁に手をつきながらゆっくりと歩きました。お昼に食べたおやきはとても美味しかったです。今度長野に行く時、また食べたいです。」と感想を話していました。



短期留学生成果発表会



8月22日（火）14時30分から人114において実施しました。

令和4年10月～令和5年9月までの期間、本学協定校のチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（トルコ）から交換留学生として学んでいる日本語・日本文化研修留学生のエメッキ・メルテムさんが、1年間の日本での留学生活と本学での学修成果について、「伝統行事を通して日本文化における四季一新潟県を中心に」というテーマで発表しました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）



国際交流のひろば

短期留学生修了証書授与式

9月6日(水) 13時15分から学長室にて短期留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から、本学協定校のチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学から留学した1名に修了証書が授与されました。



日本語・日本文化研修留学生 エメッキ・メルテム（トルコ）

私は子供の頃から、日本文化に興味を持ち、アニメや漫画、日本の古い神話のストーリーがあるゲームが大好きでした。高校の時から自分で日本語を勉強して、日本語が大好きになりました。そして私は大学で日本語を勉強することにしました。私の最大の夢はいつか日本に行くことでした。大学3年で日本に留学する機会を得て、その時の私の嬉しさは本当にいつまでも忘れられない嬉しさです。

私は上越に来てから、様々な国からの新しい友達ことができました。言葉は違っても、お互いを理解しすぐ仲良くなりました。違う国で生まれ、違う文化の中で育っても、機会があれば本当に親しい友達になれる。これを体験できたので本当に嬉しいです。授業も先生方のおかげでとても勉強になりました。歴史、文学、体育、美術など、さまざまな分野の授業を受ける機会がありました。私はトルコに帰りますが、ここにいる友達や先生がいなくてとても寂しいです。また機会がありましたらお会いしましょう！

修了生からの手紙



令和5年3月に修了し、インドでご活躍されているディビヤさんからお手紙が届きました。

令和4年度教員研修留学生 モハンティ・ディビヤ・スワラップ（インド）

こんにちは。お元気ですか。私は2021年11月から2023年3月まで、新潟と上越に留学しました。帰国前の最後のひとときは、渋谷、新宿、東京スカイツリーの近くで過ごし、夢のような日々の終わりを感じ、感慨深かったです。ニューデリーに降り立ったとたん混沌とした生活が始まり、非常に混雑し蒸し暑かったです。翌日から仕事が始まり、以前と同じように働き始めました。快適な留学生活から、以前の職業生活にシフトする必要がある、時差ぼけに慣れる時間もなく、非常に困難な時期が1カ月以上も続き、職場が遠かったので、家族にも会えない日々でした。

日本の生活について同僚や生徒たちに紹介する機会が何度かありました。彼らは魅了され、日本への訪問や留学に興味を示してくれた学生もいました。私は食いしん坊なので、寿司、ラーメン、ケーキ、アイスクリーム、スーパーの弁当などが今でも恋しいです。でもインドでは新鮮な季節の果物が食べられるようになりました。最近、インドの新しい学校に赴任し、もっと頻繁に家族に会いに行き、一緒に過ごしたいと思っています。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

上越教育大学

国際交流のひろば

第246号 2023年10、11月

新入留学生オリエンテーション

11月1日（水）12時から人215教室において、10月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

押木国際交流センター長の挨拶、留学生の自己紹介に続き、佐藤留学生支援専門部会長、担当課から「4つの留学生支援目標」「履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「学研災保険」「宿舎入居の心得」「研究活動の不正行為の防止及び研究倫理」等について説明がありました。



学長と10月入学留学生との懇談会



11月21日（火）13時から学長室において、学長と10月入学の留学生との懇談会を実施し、佐藤留学生支援専門部会長、松尾留学生支援専門副部会長及び留学生5名が出席しました。

最初に学長から歓迎と励ましの言葉があり、留学生が自己紹介をしました。

上越や上越教育大学の印象、生活習慣等の自国の文化との違い、留学生活で実現したいことや達成したい目標、将来の夢などについて、和やかに懇談しました。

留学生就職ガイダンス



11月22日（水）12時から人214教室において、東京外国人雇用サービスセンターの講師による留学生を対象としたオンラインでの就職ガイダンスを行いました。今年度2回目で、今回は面接対策セミナーとして最初に講義を聞き、次にロールプレイをしながら実践的な個別面接の練習をしました。

講師から細かい部分までご指導をいただき、留学生は緊張しながらも一生懸命に取り組み、「とても勉強になりました。今日学んだことは、必ず役に立つと思います。」と感想を述べていました。





留学生等交通安全教室

11月29日（水）14時45分から人114教室において実施し、留学生12名とチューター、教職員など計23名が出席しました。

近藤留学生支援専門部会委員の進行で、上越警察署職員から自転車を中心とした交通安全指導では交通ルールを覚えるための「はひふへほ」、実際に事故が起こった時の対応方法など、また身近な犯罪として、特殊詐欺やマネーロンダリングなど分かりやすくお話しいただきました。

最後に留学生代表として楊綺雯さん（中国）は「いろいろな国から来ている留学生にとって、日本のルールは知らないこともたくさんあります。しかし今日は日本の交通ルールや身近な犯罪について学ぶことができ、大変勉強になりました。今後も学んだことを忘れずに、安全な社会生活のために貢献していきたいと思っています。」とお礼の言葉を述べました。



よろしくお願いします!

10月に入学した留学生は、中国5名、トルコ1名です。これにより本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると30名となりました。

エヴギンさん、胡さんに自己紹介をお願いしました。



特別研究学生 胡添添（中国）

初めまして。私は哈爾濱師範大学からの交換留学生です。日本語を専門とした私は留学を機に日本の魅力を深く知りたいと考えています。日本に対する印象は、美しい自然、伝統文化、先進技術が融合する国として非常に魅力的です。また人々の礼儀正しさや努力家な姿勢も感心しています。この留学期間中に異なる文化や言語を理解し、国際的な視野を広げることを目指しております。日本の教育制度や研究環境を学ぶことに期待と興奮が入り混じっています。日本で楽しみにしていることは、地元の食文化を体験することや、伝統的な行事に参加することです。また、日本全体の美しい景色や歴史的な名所を訪れ、新たな友達との出会いも楽しみにしています。日本での留学生活が充実したものになれるよう努力し、様々な経験を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



日本語・日本文化研修留学生 エヴギン・ヒラル（トルコ）

はじめまして。出身はトルコのイスタンブールです。トルコではチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学日本語教育学科の3年生です。大学で日本語の勉強を始める前は、イスタンブール大学で2年間イタリア語を勉強しました。高校生の時から言語と異文化に興味があります。その中で最も興味があるのは日本文化です。外国人の自分にとって、日本人の考え方や生活の仕方はおもしろくて、世界の中はもちろんアジアの他の国とも比べると特徴的な点がたくさんあるかもしれません。そのため、日本にいたるうちに日本文化の一部である料理、お祭り、歴史的な名所や着物などをできるだけ体験したいと思います。その上、国内旅行をすることとたくさんの日本人の友人と出会うことを楽しみにしています。よろしくお願いします。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）



上越教育大学

第247号 2023年12月

国際交流のひろば



J.TESTの受験と講評

11月4日（土）本学において、留学生がJ. T E S T 実用日本語検定（A－Cレベル）を受験し、12月8日（金）人114教室において、田島留学生支援専門部会委員より試験の成績通知と講評を行いました。

留学生が受験したものは中級から上級向けのものです、本学では留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の日本語支援に役立てることを目的に毎年実施しています。難易度は毎回一定のため、毎年受験することにより日本語力の進歩が分かります。



留学生が語る／留学生と語る会



12月20日（水）16時30分からOpen MUJI（無印良品直江津）において開催し、市民、学生、教職員など39名が参加しました。

今回は『各国の地球環境保全への取組みについて語り合おう』というテーマで、谷留学生支援専門部会委員の進行のもと、最初に無印良品直江津店の長澤様から無印良品の環境保全への取組みの事例紹介および店内見学ツアーを行っていただき、次に留学生3名（中国、パキスタン、ブラジル）が日本に来て感じた環境についての良い点悪い点、また自国の環境問題や取り組みを紹介しました。最後に参加者全員で意見交換を行いました。

参加者からは「世界の国々の良い所を共有し、広めていくことは大切。そのような場であり、とても良かった」「地球の共通の問題を異なるバックグラウンドの方々から話を聞ける良い機会だった」「有意義で刺激をもらった」「留学生の目からみた日本の姿が分かり、ためになった」と感想がありました。



世界を語ろう！

12月6日（水）、19日（火）12時10分から、留学生交流プラザおよび大学会館のPOTATOにおいて実施しました。

「世界を語ろう！」は、留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉などについておしゃべりをする交流の場です。

12月6日（水）アウラ・ヴィオレッタさんがコロンビアについてクイズを交えながら紹介し、仲間が集まった時にするダンスを教えてみんなで楽しみました。12月19日（火）魏之絢さんが中国と故郷の内モンゴルについて紹介し、最近の中国のおもしろいことやクリスマス、お正月について話しました。

和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。



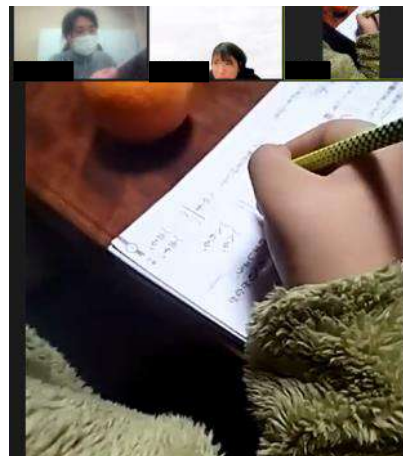
外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」

12月22日（金）、26日（火）「冬休みの宿題教室」を実施しました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に、冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に学習支援をするものです。

22日（金）は大雪のため、安全面を考慮し、残念ながら急遽中止としました。26日（火）に支援を受けた児童生徒は20名で、支援者として留学生および日本人学生が10名参加しました。

今回は対面での支援と、大学への移動が難しい児童生徒への対応としてWeb会議システムを利用し、児童生徒が参加しやすい環境を設定しました。

参加した楡井恵実さんは「子どもによって、同じ説明でも伝わり方が違うので、興味深かった。例えば、子どもの関心の高い内容から教えた方が伝わりやすいと感じた。」と感想を述べていました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）



国際交流のひろば



外国人研究者 チー・フー・ルム先生のご紹介



1月23日（火）から1月28日（日）までの間、シンガポール南洋理工大学国立教育学院のチー・フー・ルム准教授が本学を来訪しました。

今回は、国際交流推進センターの「海外との研究交流事業」により「地域文化を育む教員養成の在り方」について研究されるため、招へいされました。受入れ担当教員は、時得紀子教授です。

1月25日（木）に林学長と中山理事に挨拶を行い、お互いの専門に関すること、また本学との継続的な交流の可能性について懇談しました。また、滞在中に附属幼稚園、小学校、中学校を訪問し、シンガポールの紹介などを行って、児童・生徒や教員と交流しました。

外国人留学生との意見交換会

1月31日（水）16時30分から大会議室において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員が出席しました。

押木国際交流センター長の挨拶の後、小グループごとに意見交換を行いました。

修学、生活、大学と地域との連携の3つの話題を主に、留学生からは上越の生活、宿舎、大学の授業、進路など日頃の悩みや考えていることの意見・要望が出されました。

特に多かったのは、地震の時の避難方法や冬の生活の大変さ、交通の不便さなどでした。

グループごとにアドバイスや解決方法などが話し合われました。

この会で得た意見から対応や改善をし、今後も留学生支援につなげていきます。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

国際交流のひろば

留学生スキーのつどい

2月21日（水）～22日（木）上越市安塚区キュービットバレイスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、参加者相互の親睦を図ることを目的に実施しています。

許雲霞さん（中国）から感想文を寄せてもらいました。

大学院2年 許雲霞（中国）

1年ぶりのスキーがとても楽しみでした。1日目の午前3回、リフトに乗りました。昼食のカレーは私の拳半分の大きさの牛肉の塊に驚きました。とても美味しかったです。午後は月影の里で横尾さんから地元の文化や月影の里の歴史等の紹介を聞いて、暖かい部屋で皆でカラオケをしました。とても楽しい時間を過ごしました。2日目は、インストラクターの小林先生からストックの使い方やスキーの回転の仕方を教えていただきました。今までずっと自分のやり方で練習しましたが、どう成長していくのか迷っていました。今回小林先生からスキー選手の練習の仕方や上手な人の観察の仕方の話を聞いて、スキーという運動への理解が深まりました。最後に、今回のスキー活動に色々準備していただいた先生方、同行していただいた先生方、見守っていただいた運転手さん、宿泊施設の方々、知識を教えていただいたコーチに感謝を申し上げます。本当に素晴らしい体験でした。ありがとうございました。



留学生が作った雪の灯籠

修了留学生成果発表会



2月27日（火）9時30分から講201教室において、修了留学生成果発表会を開催しました。

発表者は、教員研修留学生4名と特別研究学生1名です。それぞれ日本や上越での体験、友人との交流などの留学生活の思い出と1年間または半年間の各自のテーマで取り組んだ研究成果を発表しました。

チブワナ・ハンナさん（マラウイ）は「留学生はそれぞれユニークな視点を持って、日本での経験、自身の研究を発表しました。私はこのような場で発表会に参加できたことに誇りを感じました。」と感想を話していました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

国際交流のひろば



「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

本学の国際交流に係る基本方針に基づき、海外の大学等との研究交流を推進するため、「海外との研究交流事業」を行っています。今年度は2件の事業が採択されました。そのうちの1件で、11月にドイツのブランデンブルク工科大学で研究交流を行った教科教育・教科複合実践研究コース（芸術創造／音楽）の尾崎祐司教授の報告です。

2023年11月13日～16日にかけて、教職大学院「音楽教育実践演習」の受講者4人と、ブランデンブルク工科大学（ドイツ・コト布斯）、及びコト布斯市内の幼稚園・小学校・中等教育学校で音楽の授業を参観してきました。ブランデンブルク工科大学第4学部音楽部門とは2021年6月に大学間交流協定を締結していましたが、コロナ禍が明けてようやく学生間交流も可能となりました。

ブランデンブルク工科大学は学校の教員養成に限らず、音楽学校の教員も養成しています。そのため、参観したLehrprobe（日本の模擬授業・模擬レッスンに相当）では、授業担当の学生が、個人的にフルートを指導している小学生を大学の指導法の授業に招き、レッスンの様子を受講者に見せる内容でした。授業者は事前に子供の達成度や練習計画等を記載したカルテを配布し、レッスン修了後にそのカルテを参考に指導方法について批評しあう展開でした。また、高等学校3年生の音楽科の授業では、教師による発問や生徒の発言などから、教材曲をもとに音楽的に思考を深める授業を参観できました。



大学院修了留学生への記念品贈呈式

3月8日（金）13時から大会議室において、3月に大学院を修了する留学生に、学長から記念品が贈呈されました。

修了生代表として王暉さん（中国）が「初めて上越にきたとき、雪山を見て、寒さを感じましたが宿舎は暖房があるので暖かかった。上越は静かに勉強でき、地域の人は優しく、良い思い出がいっぱいあります。上教大の先生は授業だけでなく個別指導や進路相談にも丁寧に対応してくださいました。私たちは学習面だけでなく精神面でも大きく成長することができました。今後、帰国し必ず懐かしくなるとは思います。機会があれば必ず戻ります。私たちはこれからも「なりたい自分」に向かって一歩ずつ進んでいきます。」とお礼の言葉を述べました。



教員研修留学生および特別研究学生への修了証書授与式



3月8日（金）13時15分から大会議室において、1年間本学で学んだ教員研修留学生4名（コロンビア、パキスタン、ブラジル、マラウイ）および半年間本学で学んだ特別研究学生1名（中国・哈爾濱師範大学協定校）に修了証書が授与されました。

学長からお祝いの言葉が述べられ、修了生は一人ずつ上越での思い出、本学での学びやお世話になった人々への感謝の言葉を述べました。

無事に修了式を迎え、それぞれほっとした様子で3月末に帰国されました。

令和5年度上越教育大学国際交流のつどい



3月8日（金）17時から本学第一食堂において、令和5年度上越教育大学国際交流のつどいを開催しました。

この会は、上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、本学振興協力会など、日頃より本学の国際交流活動、また留学生に対し、ご支援をいただいている地域の方々と意見交換を行い、本学の国際交流に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的としています。

今回は5年ぶりに対面形式で実施することができました。遠方であったり、ご都合により来学が難しい方々や海外在住の修了生はWeb会議システムを利用し、参加しました。

会では、押木国際交流センター長による本学の国際交流の現状や留学生による1年間の活動報告、体験発表などがあり、懇談会ではご参加のみなさまからご意見をいただき、留学生による出身地の紹介を行うなど、交流を深める有意義な時間となりました。



外国人研究者 高巧艶准教授の紹介



本学海外協定大学である内蒙古民族大学の高巧艶准教授が令和7年2月28日まで本学に滞在します。専攻は声楽教育、受入れ担当教員は上野副学長です。

3月26日（火）13時30分から、林学長、中山理事、上野副学長にご挨拶を行いました。林学長からは、以前に内蒙古民族大学を訪問された際の思い出についてお話があり、高准教授からは、上越はとても静かで自然が多く、勉学や研究活動に集中できる環境であるとの印象が聞かれ、終始和やかな懇談となりました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）